

教育目標

たくましく生きる子の育成

〈家庭・地域の願い〉

- ・ 仲間と話し合い自分の意見をしっかりと伝え、仲間の意見をしっかりと聞く子
- ・ 優しく、思いやりのある子
- ・ 意欲的に取り組み、最後まであきらめずに努力する子

めざす児童像

- O 思いやる子**
- T 高め合う子**
- A 明るく元気な子**

〈児童の実態〉

- ・ 明るく、元気である。
- ・ 学習や生活に真面目に取り組む。
- ・ 学年を越えて楽しく生活している。
- ・ 主体的な行動を恥ずかしがらぬ。
- ・ 最後まで頑張り抜く力が育ちつつある。

O 心を育む

思いやりのある、心豊かな子の育成

T 学びを育む

対話を通して考えが深まり、高め合う子の育成

A 未来を育む

明るく元気に、たくましく未来を生きる子の育成

重点目標

	◎望ましい集団づくり	◎授業力の向上	◎たくましい心身づくり
今年度の目標と数値目標	互いに認め合い、仲間と協働する集団をつくる。 ・ 「みんなと何かをすることが楽しい」と答える児童を90%以上、かつ「当てはまる」を80%以上にする。	相手を理解し共感してつながる授業を行う。 ・ 相手を理解し共感してつながる授業づくりを進めた教員の肯定割合を100%にする。 ・ 「相手を理解し、共感してつなげることができた」と答える児童を80%以上にする。	未来に向かって夢をもつ子を育成する。 ・ 「めあてをもち、最後まであきらめずに取り組むことができた」と答える児童が90%以上、かつ「当てはまる」を80%以上にする。
	○自己解決力の育成 自分の課題を進んで解決できる力を育成する。 ・ 学年に応じた課題に取り組み、「実行することができた」と答える児童を90%以上、かつ「当てはまる」を80%以上にする。	○読解力、思考力の育成 読解力、思考力の向上を図る。 ・ 分かったことや考えたことをまとめた児童の振り返りの文章から、「読解力、思考力が向上した」と答える教員の割合を80%以上にする。	○自他を大切にしている子の育成 自他を大切にしている子を育成する。 ・ 「自分や相手を大切にすることができた」と答える児童を80%以上にする。
具体的な取り組み	・ 縦割り班活動で、他学年と協力し児童同士がつながりを深められるような場の工夫をする。 ・ 各学級でのさまざまな教育活動の中であたたかい人間関係のある学級づくりをする。 ・ 学年に応じた課題やトラブルを、自分たちで進んで解決できるような指導をする。	・ 相手を理解し共感してつながる学びが深まる授業の研修を行い実行する。 ・ 読解力・思考力を高めるようなカリキュラム編成の工夫をする。 ・ インクルーシブ教育を推進する。	・ 自己目標をもたせながら、最後まであきらめずに取り組めるように、過程や結果を認めたり、適切に評価したりする。 ・ 道徳や学級活動、保健、食育等の学習を中心に、命の大切さや健康、安全に対する意識を高める。

「子どもとともに」 学校を支える支援、施策、業務改善

	つながる	施策
具体的な取り組み	○地域と一体となった教育活動 ・ ボランティア先生、PTA等の関係団体と連携をとりながら、協力して教育活動を行う。 ・ メディア、情報機器など、家庭や地域と連携をとり、安全な活用を図る。 ・ 教育関係団体や諸機関と連絡を密にし、ふるさと学習の推進を図るとともに、有益な活動や、いち早い危険の連絡を取る。 ・ 地区内の保育所（園）、中学校と定期的に連絡会、訪問を行う。	○チーム「OTAっ子」としての組織力向上 ・ 「子どもとともに」を目標に、業務の見直しを図る。 ・ 定期的に企画委員会を開催し、取り組みの進捗状況を確認するとともに、課題を洗い出し、改善や方向修正等を行う。 ・ 日頃の出来事や悩みなど、職員室でコミュニケーションを取り合うことにより、共通理解を図ったり、協働して改善に向かえるようにする。 ・ 管理職や教育委員会等への報告、連絡、相談を常に行うとともに、状況の記録管理を確実にを行う。